第5号 平成22年12月1日発行

2010 DEC
NO.5

まつえ

MATSUECITY COUNCIL
NEWS LETTER

市議会だより

地蔵崎（美保関町）

議会をもっと身近に　あなたと市政を結ぶホットライン

目次

9月定例会報告　P2
平成21年度決算審査報告

一般質問　P4
市政のここが聞きたい 14人の議員が質問

委員会視察報告　P7
教育民生委員会　総合交通対策特別委員会

議会Q＆A・編集後記　P8
予算や条例はこうして決まります

発行·松江市議会　編集·議会広報等特別委員会

平成21年度の決算審査報告

決算審査は、予算が議会の議決や法令の規定により公正かつ適正に執行され、松江市民にとって効果的に支出されているかをチェックするものです。毎年９月定例会会期中において、決算特別委員会を設置して詳細な審査を行い、無駄のない予算執行に生かします。本年は、４つの分科会（総務・教育民生・経済・建設環境）において審査を行いましたので、その結果を報告します。

【結果と委員会意見(要旨)】

一般会計	**審査結果：認定（多数）** ①今後もさらなる財政運営の健全化に向けて努力を図られたい。 ②自主財源確保のため長期保有の固定資産の早期処分と、引き続き歳入の安定確保に努められたい。 ③来年度予算において、既存事業の見直しや行財政改革の強力な推進により、メリハリのある優先度を示した策定に取り組まれたい。 ④若者や高齢者に視点を当て、定住対策、雇用対策など地域の特色を生かしたまちづくりに努められたい。 ⑤現在活用されていない施設(財産)について、市民サービスの向上に資するよう有効活用を図られたい。

特別会計	会計名	審査結果	委員会意見
	国民健康保険事業	認定(多数)	①公平な保険料負担の継続的な実施、健全財政となるよう適正な保険給付と医療費の適正化、特定検診の受診率向上に努め、医療費抑制を図られたい。 ②保険事業は市町村単位での事業に格差が生じるため、保険事業については国において実施されるよう要望されたい。
	介護保険事業	認定(多数)	①高齢化時代に入り不足している施設整備も必要であるが、制度の内容についても、より利用しやすくなるよう努められたい。 ②介護予防事業の推進にさらに力を入れるとともに、介護施設待機者の解消、包括支援センターの拡充を図り、安心の体制に努められたい。
	住宅新築資金等貸付事業	認定(全員)	収入未済額の回収に努めるとともに、生活保護などの社会保障制度の適用と国に責任ある施策を求められたい。
	簡易水道事業	認定(多数)	経費は本来受益者負担ではあるが、簡易水道事業については福祉的要素もあり、全て負担をすることはそぐわない面もあるため、引き続き国・県・一般会計からの支援について要望されたい。
	集落排水事業	認定(全員)	接続についての十分な説明と計画通りの実施に努められ、引き続き、接続率や収納率の向上、コスト削減に努め、事業の健全化を図られたい。
	第二内陸工場団地建設事業	認定(全員)	引き続き、あらゆる機会を通じて積極的なPRに努め、早期の土地売却を図られたい。
	駐車場事業	認定(多数)	①今後の経営については、今年設置される松江駅前地下駐車場検討委員会で十分な協議を図られたい。 ②料金体系の見直しを含め経営努力を図られたい。
	下水道事業	認定(全員)	接続率の向上とコスト縮減に努め、更に効率的な運営に努力されたい。
	宍道国民健康保険診療施設事業、老人保健医療事業、後期高齢者医療保険事業、公設浄化槽事業 湖南誘致企業団地建設事業、第二卸商業団地建設事業、八雲地域開発事業、公園墓地事業 鹿島町恵曇・講武・御津・佐太財産区、鹿島有線テレビジョン放送事業、鹿島電気通信事業		認定(全員)

企業会計	水道事業	認定(多数)	将来負担が増える要素もあるので、今後も万全な企業体質の構築に努められたい。
	ガス事業	認定(全員)	単年度事業の黒字がより大きくなるよう努力されたい。また、総体的な人件費と委託事業の割合の改善に努められ、早期の民営化を図られたい。
	自動車運送事業	認定(全員)	今後も経営健全化計画に基づく取り組みを着実に実行され、安定的な運営に努められたい。
	駐車場事業	認定(全員)	
	病院事業	認定(全員)	①平成21年度も単年度赤字で、累積赤字も九十一億円余あるため、中期経営計画の着実な実行を図られ、1日も早く黒字基調になるよう努められたい。 ②厳しい経営実態を踏まえて職員の意識改革についての取り組みを図られたい。 ③医師、看護師の確保に努め、外来・入院の収益増を図り、経営改善努力を一丸となって進められたい。

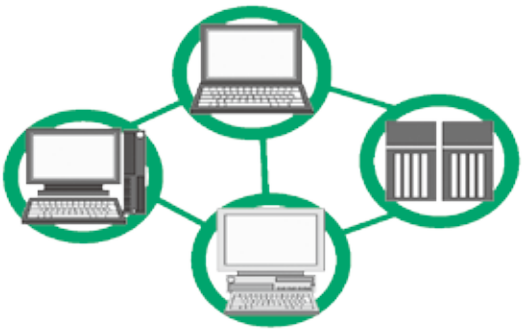
請願・陳情の審議結果

請願・陳情の審議結果は下表のとおりです。

件名		提出者	審議結果
陳情第15号	安心・安全な公共事業を推進するため、国土交通省の事務所・出張所の存続を求める意見書の採択について	国土交通省全建設労働組合 中国地方本部執行委員長 末永　敦　　外 1団体	不採択 (賛成少数)
陳情第20号	人権擁護法の成立に反対することについて	日本の子供の未来を･守る会 伊藤　道子	不採択 (全会一致)
陳情第21号	子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関することについて	日本の子供の未来を･守る会 島根支部長　妹尾　順子	閉会中の継続審査 (賛成多数)

8月臨時会 松江市と東出雲町、来夏合併を議決！

松江市が提出した東出雲町を編入合併するための関連議案を賛成多数で可決し、松江市と東出雲町は平成23年8月1日に合併することとなりました。これにより、推計人口は鳥取市を超えて山陰両県の市町村で最多の人口で、20万人を超えて「特例市」の要件を満たすこととなりました。合併に不可欠な戸籍や税など電算システムの統合事業費1億4,280万円を計上した平成22年度一般会計補正予算案も可決しました。



9月定例会 補正など27議案すべて可決

六億二百万円余の一般会計補正予算案など市長提出議案27議案を原案通り可決しました。補正後の一般会計予算総額は、前年度同期比2.9%増の九百九十五億二千三百万円余となりました。

市政のここが聞きたい　14人の議員が質問

9月議会 一般質問

9月議会では、9月13日から9月15日までの3日間にわたり一般質問を行いました。
質問をした議員本人が通告した項目の中からひとつ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。

会派代表質問

三島（みしま）　良信（よしのぶ）（松政クラブ）

- 国が目指す方向について
- **平成23年度予算編成について**
- 合併について
- 高速道路無料化について
- 後期高齢者医療制度について
- 島根原子力発電所の保守管理の不備等について
- 松江市自治基本条例制定について
- 核兵器廃絶に向けた取り組みについて
- ふるさと納税制度について

質問　平成23年度予算編成方針について

①平成22年度決算状況を踏まえ、平成23年度予算編成に臨む、市長の方針は？②予算総額は幾らか？③どんなことに力点を置くか、今年は猛暑が続いたが学校にエアコン設備、太陽光発電設備、雨水利用の設備、備品や消耗品など、子供たちが安心して楽しく授業が受けられる環境設備が必要ではないか？

回答　次の世代にツケを回さぬように

①まだ予算編成方針はできていないが、今後、実質公債費比率18%を切ることや地方債残高1,330億円を1,000億円に削減することなど、財政難、経済不況ではあるが、目標を持って予算編成に当たる。②来年は東出雲町と合併するので少しは増えると思うが、松江市分で900億円前後になる。③総合計画の前期最終年度だ。定住促進や松江開府400年祭を盛り上げたい。提案の小中学校のエアコン設備は、今後前向きに考える。

会派代表質問

出川（でがわ）　修治（しゅうじ）（松政クラブ）

- 市長の政治的スタンスと市政運営について
- 「健康都市まつえ」宣言に関連して
- **まちづくりについて**

質問　都市計画税の現状と有効活用

固定資産税に0.2%の都市計画税を上乗せされている市街化区域とその他の区域について、面積、人口、税収等の現状は？財政は今後ますます厳しくなると思うが、都市計画税の目的を尊重し、景観行政に力を注ぐとともに、迫りくる超高齢化社会の到来に備えて「公共交通と自転車と徒歩で支える」魅力ある中心市街地づくりに活用されるよう強く望む。

回答　中心市街地の対策は大変重要な課題

市街化区域は市域全体面積の約五%で、人口は六十二%、そこからあがる固定資産税、都市計画税の総額は約八十億円で市全体のそれの約七十七%を占める。以前から要望されている建築物の高さ規制を始めとする景観行政に取り組むほか、歩行者や自転車の安全な道路空間の確保に努める。中心市街地対策は重要課題であり、都市計画税はもちろんであるが、それ以外の財源制度を駆使して取り組んでいきたい。

会派代表質問

篠原（しのはら）　栄（さかえ）（公明クラブ）

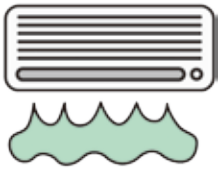
- 防災問題
- 合併問題
- 高齢者不明問題に関連して
- 子宮頸がんワクチンについて
- 医療保険について
- 消費者問題
- 特別支援教育総合支援センターについて
- **猛暑対策について**

質問　クーラー設置と緑地芝生化で猛暑対策を

この夏は猛暑が続いたが、今後も経験する可能性があり、その対策として、小中学校へのクーラー設置と、街路樹や緑地芝生化でクールスポット、クールベルトの拡充、前倒し実施を要望する。

回答　クーラーは来年度より前向きに検討 市の駐車場を芝生化

小中学校へのクーラー設置は、来年度より前向きに検討していきたい。それから、小学校の校庭を平成25年度までにすべて芝生化していきたい。また、市の駐車場に、今後芝生化によるグリーンパーキングというものを試験的に導入してみたいと思っている。



会派代表質問

畑尾（はたお）　幸生（こうせい）（市民クラブ）

- 参議院選挙の結果と消費税について
- **後期高齢者医療制度の見直しと国民健康保険制度のあり方について**
- 高齢者不明問題
- 市民参加の各種イベントについて
- 水郷祭の運営について
- 中海・宍道湖問題について
- 「高速道路無料化社会実験」について

質問　後期高齢者保険制度の見直しと国民健康保険制度のあり方について

①現行制度の評価、問題点②国保を県単位で広域運営にすることについて③高齢者の負担軽減は現役世代の負担増大となるが、負担の公平ということについて④後期高齢者保険制度の見直しについて、市長の意見をお聞きしたい。

回答　医療保険制度は国が責任を持って実施すべき 国保制度は県単位の広域化を

①後期高齢者保険制度は発足時の混乱から現在は一応ほぼ定着したと考える。②当面、国保は都道府県運営がよいと考える。③世代間の負担の公平化のためには国の責任において財政措置がなされるべき④医療保険制度は一本化するべき。中間報告の「国保運営を都道府県単位」というあいまいな表現を、「都道府県を運営主体」と改めるよう要請したい。

片寄（かたよせ） 直行（なおゆき） （共産党議員団）

- 斐伊川治水問題
- **尾原受水と水道事業**
- 原発問題と地域防災計画
- 新交通システム
- 生活保護行政

質問 水道料金の値上げ抑制を

来年４月から予定されている尾原受水について、島根県から受水単価が示された。トン当たり 117 円で、松江市では年間５億円の受水費の増加になる。

松江の水道料金は県庁所在都市で 10 番目の高さだ。「旅館業、クリーニング店、市民からは需要予測を誤ったツケを住民に押し付けるべきではない」「これ以上負担が増えるのは耐えられない」との声を聞く。値上げを抑制すべきではないか。

回答 平成 23 年度の料金改定は行わない

人件費の圧縮や建設改良費の見直しなど経営努力のため、平成 23 年度の料金改定は行わない方向で検討している。平成 24 年度以降は、水需要の動向、尾原受水費の影響度を見極め検討していきたい。

林（はやし） 干城（かんじょう） （松政クラブ）

- 高齢者の行方不明問題等について
- 事業仕分けについて
- 中海問題について
- 松江市の森林資源の管理と活用について
- 介護保険について
- 障がい者対策について
- **廃食油処理について**
- 新ごみ処理施設と分別

質問 廃食油の回収・精製は民間に移行を

松江市が直営で実施している廃食油の回収、精製事業は市民の環境意識を高めた。しかし、コストはℓ当たり 681 円と高く、回収量も増えていない。幸い民間の福祉団体がこの事業に参入しつつある。低コストで市民への広がりも期待でき、かつ障がい者の就業の場の確保にもなる。市の直営は見直すべきと昨年に続いて提案するが、考えを伺う。

回答 一定の成果あり　今後は民間を支援

廃食油が川へ流れ込む等で水質汚濁の原因となることから、市で廃食油リサイクル事業を平成 14 年から取り組んだ。下水道の整備とあいまって川が廃食油で汚染されることもなくなり、この事業は一定の成果を上げた。したがって行政として直営で事業を行うことは終了し、今後は民間でどんどんやってもらうための支援を積極的にやっていきたい。

加藤（かとう） 富章（とみゆき） （松政クラブ）

- 高齢者問題について
- スポーツ振興と観光対策等について
- 松江城国宝化と緑山公園の整備について
- **JR 松江駅の障がい者向け整備について（要望）**

質問 障がい者に優しい「松江駅」の整備を

松江駅北口は、一般車両で乗り降りするには地下駐車場を利用するしかなく、南口駐車場はいつも満車で、車道と歩道の間には車止めが設置され、障がい者や急ぎの客からは松江駅は利用しにくいとの声を聞く。また、南口前には屋根がなく、雨降りに JR を利用する方々にとって、あまりにも不便と聞くが、南口の歩道や、駐車場から駅の入口までの間に屋根を設置できないか伺う。

回答 施設整備を検討

今後、松江市の身障者福祉協会など関係団体の皆様のご意見をお聞きしながら、有効な施設整備の方法について検討させていただきたいと思う。

桂（かつら） 善夫（よしお） （公明クラブ）

- 環境問題
- 福祉問題
- **観光行政**
- 生活関連

質問 国際観光の誘致について

訪日観光客の増加は地域活性化につながる、21 世紀のリーディング産業である。明るい話題は中国人観光客の増加で、力強い消費行動に期待が高まる中、中国人客は 100 万人を超えた。主な訪日理由であるショッピングや日本食、温泉だけでなく歴史や文化、景観と治安のよさを PR するため、自治体レベルで観光政策を充実し、地域振興を図るべきと考える。

回答 外国人観光客をターゲットに誘致行う

松江市の今年１月から３月の外国人宿泊客数は、前年比で全国平均が 1.29 倍で、松江市は 2.58 倍と大きく増加している。これからは、外国人観光客を誘致する場合のプロモーション、宿泊施設における受け入れ態勢の充実、外国語案内の充実等々が必要だと思う。これからねらいを絞り、外国人観光客をターゲットに観光客誘致を行っていきたい。

斎藤　菊市（友愛クラブ）

- 東出雲との合併について
- 行財政改革について
- 環境問題・新ごみ処理施設の稼働について
- **救急体制の整備について**
- 松江第五大橋道路高架下利用について

質問　救急医療情報キット「命のバトン」の普及促進をどのように考えているか

救急車要請を受けた場合の初期処置における個人の医療情報の必要性をどう認識しているか。また、高齢者や独居の方の対策として、個人の医療情報を記載した資料をバトンに入れて冷蔵庫の中などに常時保管し、いざという時に役立たせる救急医療情報キット「命のバトン」の普及をどのように考えているか。

回答　医療情報キット配布を検討中である

救急隊としては、そういう医療情報は有用と考えており、健康福祉部では、高齢者施策検討委員会からの提言に沿い、救急医療情報キットの配布事業として、独居及び高齢者のみの 9,000 世帯、それに加えて、いろいろな事情を考慮しながら 16,000 世帯への普及を予定し、現在消防本部の協力を得ながら、必要な情報の種類や配布方法を検討している。

貴谷　麻以（松政クラブ）

- **住民の失業と就職不安が増している中での、松江市の就労支援、住居対策の見解を**
- 男女共同参画課の移転の目的と今後、市民活動センターとの連携
- DV 施策と児童虐待、デート DV への職員の研修・相談体制は

質問　失業と就職不安の中の就労支援連携住居対策の見解を

60 歳前後の人の子どもさんの 3 人に 1 人、また女性は半数が非正規雇用です。県外求人も半減。このままでは社会保険を支える人がいなくなります。新たな就労支援、企業立地、担当者連携、起業、雇用促進住宅などの状況はどうなっていますか。

回答　企業立地　就労支援員の増員起業家スクールなど

企業立地が 4 件決定。（クラウドコンピューティングサービス等）また、生活保護の受給者増（全体で 11%増）に伴い、就労支援員を増員しました。農商工連携によるセミナー、NPO による起業家スクールなど雇用の創出、就労支援を積極的に行います。

飯塚　悌子（共産党議員団）

- 猛暑、熱中症対策について
- **幼稚園講師の勤務条件の改善について**

質問　幼稚園講師は通年雇用に

松江市立幼稚園では多数の臨時的任用講師が勤務している。講師の勤務条件は決してよいとはいえない。賃金は経験の反映されない固定の日給制、ボーナスの支給もない。特に問題だと思われるのは、年度を通じての雇用が前提となっているにもかかわらず 8 月の 1 ヵ月は雇用を切られ、10 日程度のアルバイト雇用になる。正規職員とほとんど変わらない業務を日常的、継続的に行っている幼稚園講師が、子供たちは夏休み中だからといって 1 ヵ月も雇用を切られる、これはぜひ改めていただきたい。

回答〔教育長〕ベストだとは思っていない

確かに夏休みの期間中を切ることがベストだと思ってないが、諸般の事情の中で、今はこういう状況でやっているということだと考えている。

野津　照雄（松政クラブ）

- 太陽光発電補助事業について
- 消防火災報知機普及について
- 道路・環境関連事業（馬潟地区）
- ホーランエンヤ（記念館）について
- 松江第五大橋事業関連
- **大橋川改修事業について**

質問　大橋川改修事業について　地元との設計協議に向かう基本姿勢は

上流部、下流部の移転対象地域の整備計画（1/2500）が提示されましたが、地元で設計協議を行うに当たっての基本姿勢は？

回答　実施してよかったと思える事業にします

地元の皆様には、ご負担をおかけする場合もあるとは思いますが、十分に協議し“事業をやってよかった”他地域の方からも“住んでみたいまちづくり”となることを目指します。

吉金　隆（よしかね　たかし）（松政クラブ）

- **松江城国宝化について**
- ダム･橋梁の耐用年数･耐震性について
- 島根原子力発電所について

質問　署名運動の今後と専門委員会について

松江城国宝化に向けての署名が８月31日現在で12万7,261名集まっているが、その活用の仕方と、第２回の市民の集いで「国宝にと願うなら、天守を大切に思う心で、城、町全体を考え、歴史と文化を大事にする気持ちが横たわっていなければならない」と講演をされた神奈川大学の西和夫先生等による専門委員会の役割と今後のスケジュールを問う。

回答　文科省へ要望し　松江城調査研究委員会で来年度中にめどをつけたい

当初の目標を大幅に上回った署名を携え、10月文部科学省、文化庁に要望する予定である。また、西先生を委員長に松江城調査研究委員会を発足しており、３部会で建築史、構造、歴史史料が研究されている。現地調査も済ませ本年度中に３回委員会を開き、松江開府400年祭最終年の来年度中にめどを立てていきたい。

宅野　賢治（たくの　けんじ）（友愛クラブ）

- ふるさと納税寄付について
- 幼稚園、保育所（園）行政について
- **高齢者福祉の行政について**

質問　特養の入所待機者現状と施設整備の展望　個室化推進か相部屋容認か

特別養護老人ホーム待機者の現状と今後の施設整備水準の展望を伺う。特養について国はユニット型個室化を推進しているが、低所得者の方が入れないので、費用の安い相部屋の併設を認めて欲しいなどという声があがっているが、どう考えているのか。

回答　待機者約200名　次の介護保険事業計画で増床図る　個室化普及が必要

要介護４ないし５の入所待機者は約二百名、次の第５期介護保険事業計画の中で200床の増床を図りたい。プライバシー確保と適切なサービスが受けられるというユニット型の普及が今後も必要だと思う。個室は利用者負担が高いが、原因のひとつが建設コストなので、これを抑えるために市有地の無償貸与等や松江市独自の負担軽減策を検討したい。

委員会行政視察報告

城下町のまちづくりや発達支援などを学ぶ

（平成22年8月23日～25日）

教育民生委員会　吉金　隆　委員長

初日の愛知県犬山市では、犬山城の保存･活用について研修しました。「歴史まちづくり課」を教育委員会に配置して城と城下町を一体とした整備に取り組んでおり、城下の町並みには電線地中化を施し、犬山祭の車山(やま)を展示した「どんでん館」も配されていました。

翌24日は、午前に三重県亀山市で、松江市でも充実をめざしている子どもの発達支援の取り組みを研修。「赤ちゃんから成人まで」の各期の担当者がそれぞれに深く連携することで、途切れない支援を達成していることを学びました。午後は岐阜県大垣市で「大垣市民病院の健全経営の取り組み」を研修するため同病院を訪問し経営状況を伺いました。西濃地区では最大の総合病院で、立地や待遇の良さで豊富に医師を雇用し、診療科も多いことから、運営が良好なのは理解できました。

最終日は滋賀県彦根市の「彦根城博物館」についての研修でした。同館の展示棟、能舞台、復元された木造棟など、その重厚なしつらえに圧倒されました。それは城に接した京橋通りの整備にも共通して現れており、市民全体の彦根城への思いが、まちづくりの基盤にあるように感じられました。

彦根城（滋賀県彦根市）

新交通システムの可能性は

（平成22年8月2日～3日）

総合交通対策特別委員会　森脇敏信　委員長

特別委員会では、一畑電車問題、市内のバス交通網及び新型路面電車など、総合的な交通問題についての調査を行っています。松江市では「新交通システム研究会」を設置して研究を続けてきましたが、今後は庁内で検討していく段階になっています。そこで、このたびは、交通政策を直接担当する国土交通省の都市地域整備局での研修と、鉄道跡地をバス専用道として活用し、ＢＲＴ（バス高速輸送システム）事業を実施している先進地、茨城県石岡市の視察を行いました。

新交通システム導入に伴う国の課題と支援について、国土交通省の中村企画専門官から説明を受けました。そして、松江市として今後「車社会」という現状をどうしていくのかなど、将来に向けた方針についての議論が一層大切になっていることを再認識しました。また、石岡市では、中心市街地活性化の戦略にもとづくBRT事業について、８月末日開通予定のバス専用道路の状況や事業計画などを研修しました。

バス専用道（茨城県石岡市）

平成22年12月定例会日程

月	日	曜日	会議名
12	1	水	本会議 (会期の決定・委員長報告・討論・採決・提案説明)
	6	月	本会議 (一般質問)
	7	火	本会議 (一般質問)
	8	水	本会議 (一般質問・議案質疑・委員会付託)
	9	木	総務委員会
	10	金	教育民生委員会
	13	月	経済委員会 建設環境委員会現地視察
	14	火	建設環境委員会
	17	金	本会議 (委員長報告・討論・採決)

議会や議員について、こんなことを知りたいということがありましたら、ぜひ質問をお寄せください。

予算や条例はこうして決まります

議会Q&A

議案はどんなふうに審議するのですか

議案提出 予算案や条例案などが提出されます

説明 市長や議員など、議案提出者が説明します

質疑 議員が議案について疑問に思ったこと、明らかにすべきことなどを尋ねます

委員会 議案を詳しく審査するために、関係の委員会に議案がゆだねられます。委員会として賛成すべきか反対すべきかを決めます

委員長報告 本会議で各委員長は審査の経過や結果を報告します

討論 議員が賛成または反対の意見を述べます

議決 議案の可決または否決を決めます

議会広報等特別委員会

委員長 南波 巌
副委員長 田中明子
委員 野津直嗣
委員 貴谷麻以
委員 野津照雄
委員 宅野賢治
委員 川井弘光
委員 片寄直行

皆さんのご意見をお寄せください

〒690-8540 松江市末次町86
議会広報等特別委員会(松江市議会事務局)
電話 (0852) 55-5433
ファックス (0852) 55-5533
議会事務局メールアドレス giji@city.matsue.lg.jp
ホームページアドレス
http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/top.html

アクセスはこちら

松江市議会 検索

パソコンで「松江市議会」を検索

編集後記

松江市議会の広報特別委員会において「まつえ市議会だより」を発行してから一年・第五号を迎えることができました。この間、関係諸機関・諸氏のご協力と、読者の皆様からのご意見、励ましに支えられてきましたことに感謝いたします。

「少しでも市民の皆様に近づくことができるように」を合言葉に、委員全員が協力しあい、限られた紙面構成の中で「あれも伝えたい、これもお知らせしなければ」云々、試行錯誤の中で取り組んでまいりました。

これからも松江市議会の動き松江市政の方向性等につき情報発信の場として、かつ市民の皆様のご意見を反映し読みやすい情報誌を目指すべく一層努力いたします。

議会広報等特別委員会
野津照雄